第３回　恵那市環境審議会次第

日 時：令和８年３月３日（火）
午後１時 30 分から
会 場：恵那市役所北庁舎大会議室

１．開会

２．会長挨拶

３．議題

審議事項

（１）第３次恵那市環境基本計画の策定について　資料１・別冊

①パブリックコメント意見について

②前回審議会からの修正点について

③計画案の答申について

報告事項

（１）環境施策の取り組みについて

①恵那環境みらいらぼ　資料２

②ENA PAPER　LOOP（自治体 CE 診断/ビジョン策定）資料３

（２）その他

４．閉会

恵那市環境審議会委員名簿

（任期：令和7年7月16日～令和9年3月31日）

区　分	審議会役職	所　属	役　職	氏　名
有識者	委　員	中部大学	教授	竹島　喜芳
環境団体	委　員	恵那市環境対策協議会	会長	柘植　清成
地域自治区会長会議	委　員	地域自治区会長会議	山岡地域自治区会長	渡邉　康正
商工会議所	委　員	恵那商工会議所	常議員、環境情報委員長	加藤　規久
商工会	委　員	恵那市恵南商工会	研修委員会委員	渡會　充晃
校長研修会	委　員	恵那市立飯地小学校	校長	下畑　茂
農業関係団体	委　員	恵那市農業振興協議会	副会長	鈴木　雅博
林業関係団体	委　員	えなの森林づくり推進委員会	委員	小椋　正明
環境市民団体	委　員	NPO法人市民エコ会議	理事長	足立　美保子
子育て・教育関連団体	委　員	恵那市子ども・子育て会議	委員長	坪井　弥榮子
環境省	委　員	中部地方環境事務所	環境対策課長	猪岡　貴光
岐阜県	委　員	恵那県事務所	環境課長	伊藤　明

事務局（水道環境部環境課）

所　属	役　職	氏　名
水道環境部	部長	梅村　浩三
水道環境部　環境課	課長	山田　英正
水道環境部　環境課	課長補佐	佐藤　昌宏
水道環境部　環境課	係長	大島　光洋
水道環境部　ゼロカーボン推進室	副室長	後藤　弘明
水道環境部　環境課	主査	柴田　悠

【資料1】

第３次恵那市環境基本計画（案）に係るパブリックコメントの意見・回答

No.	いただいた意見	ご意見に対する考え方（回答）
1	3-6 目標指標 基本目標2 一人1日あたりのゴミ排出量の目標値が示されているが、数字を示されても、実感がわかない。 計画を進めるには、市民の協力も必要です。 市民に分かりやすく説明することが必要ではないでしょうか。	貴重なご意見ありがとうございます。 市民への周知を図る際に分かりやすく伝えられるよう努めてまいります。 また、市民とともにゴミ減量を進めていく事業を開始する準備を進めており、官民連携して取り組んでまいります。
2	基本目標4.5 「えーなび」を登録することで、指定避難場所、防災マニュアル、ゴミの分別を知ることができると思います。 指定避難場所を知っている市民の割合を目標にするのではなく、防災訓練参加者の割合を目標にしてもいいのではないかと思います。	貴重なご意見ありがとうございます。 第2次計画では、ご指摘の「防災訓練参加者の割合」を目標指標として設定していましたが、天候等の理由で訓練中止の場合があり、進捗状況を確認できない年度がありました。第３次計画では、命を守る行動の最低限必須の知識である「指定避難場所を知っている市民の割合」を目標と設定しました。また、「指定避難所を知っている市民の割合」の過去４年間推移は、横ばいで推移していますが、数値が最も高かった令和３年度の実績値（87.7％）と同程度での現状維持を目指して取り組みを推進してまいります。

第2回恵那市環境審議会後の事務局修正箇所

●第3次恵那市環境基本計画

①P13　（３）人口・世帯数

第２回環境審議会で意見があり、下記のとおり修正（赤字箇所を追記）。

人口減少、少子高齢化が続く中、第３次恵那市総合計画の基本構想の最終年度となる 2045 年の総人口は約 3.1 万人となることが推計されています。

第３次恵那市総合計画（恵那市みらいビジョン 2045）においては、「本計画に基づく様々な取組の推進により、出生率の向上や若年層の転出超過を改善することで、人口減少を緩やかにしていくとともに、人口が減少したとしても、誰もが住み慣れた地域での生活を継続し、幸せに暮らせるまちづくりに取り組みます」と人口減少、少子高齢化への対応策を示しています。

令和２年（2020 年）国勢調査の実績値および国立社会保障・人口問題研究所による推計をベースとしたコーホート要因法（※）による推計を行いました。

②P33　「岐阜の名水百選」の名称誤りのため「岐阜の名水 50 選」に修正。

③P85 以降　資料編（環境保全に関する関係法令、用語解説）を追加。

【資料2】

報告事項　環境施策の取り組みについて

報告事項　環境施策の取り組みについて

恵那環境みらいらぼのコンセプト

市内のごみ減量化・資源化の課題を市民、学生、事業者などが学び、考え、伝えることで、環境の未来を創る。

これまでの進め方

①市役所が現状の課題を踏まえ将来計画を考える

壁

②政策・ルールに従って行動する

行政と市民、事業者等との意識にギャップがあった。

恵那環境みらいらぼの進め方

壁を取り払い一つの輪となって考えていく

報告事項　環境施策の取り組みについて

恵那環境みらいらぼの取組み

①学ぶ

恵那環境みらいらぼ・たねまき

②考える

恵那環境みらいらぼ・そだてる

③伝える

恵那環境みらいらぼ・みのり

※このプロジェクトは繋がりがあることを植物の成長過程をイメージし表現

報告事項　環境施策の取り組みについて

恵那環境みらいらぼ・たねまき（学ぶ）

内容：環境について体験しながら学べるワークショップ型講座

対象：小学生以上（例　恵那農業高校生徒等）

人数：50名程度

目的：ごみ減量化、資源化を含めた環境の現状や課題、取組みについて学ぶ

■内容：

生ごみ/フードロス

古紙リサイクル

地域全体の話

プラスチック

■講師：

五段農園：高谷裕一郎氏
～堆肥化の話～

ごみの学校：寺井正幸氏
～地域ごみの循環～

その他市内のリサイクル業、製造業など（環対協、SDGｓ推進協議会等）にも打診

報告事項　環境施策の取り組みについて

恵那環境みらいらぼ・そだてる（考える）

内容：ごみ減量化、資源化に関する現状、課題を理解した上で、学んだことを活かして何が必要か？何ができるか？を考えるワークショップ

構成：恵那環境みらいらぼ・たねまきから選出+事業者（環境対策協議会、SDGｓ推進協議会等）+学校等+環境関連団体等

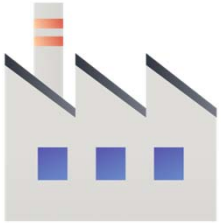
目的：ごみ減量化、資源化に関する市民、事業者、行政の取組みについて考え、実行に移すほか、廃棄物減量等推進審議会へ提案

■主な検討内容（例）
- 生ごみの排出抑制（自家処理、食材の使い切り等）
- 分別の徹底、事業者と連携した食品廃棄物の削減
- ごみ減量、資源化に対する市民意識の醸成

■内容：環境の未来を考えるワークショップ

■参加者

みらいらぼ・たねまき
から数名選出



事業者

小売店

多様な参加者が集まり、できることや、
やりたいことを話すことで次の行動へ移しやすくする

報告事項　環境施策の取り組みについて

恵那環境みらいらぼ・みのり（伝える）

内容：ごみ減量化、資源化の推進に向けて恵那環境みらいらぼ・そだてるのアイデアを実行
構成：恵那環境みらいらぼ・そだてるのメンバーを基本とし、行政などが支援
人数：テーマ別に実行チームを構成
※市政に反映するような内容については、恵那環境みらいらぼ・そだてるで、再度考え、廃棄物減量等推進審議会へ提案する。
発信：SNS、ホームページ、え～なび、みらいらぼ通信、関係する事業者による横展開等

■**内容：**環境の未来を考えるワークショップ

■**支援：**

行政や事業者などが財源、技術等を支援

【資料3】

報告事項　環境施策の取り組みについて

ENA PAPER LOOP

（自治体CE 診断/ビジョン策定）

- 古紙のリサイクルによる循環モデルの構築
- 市内事業者による資源循環の取組みの拡大

報告事項　環境施策の取り組みについて

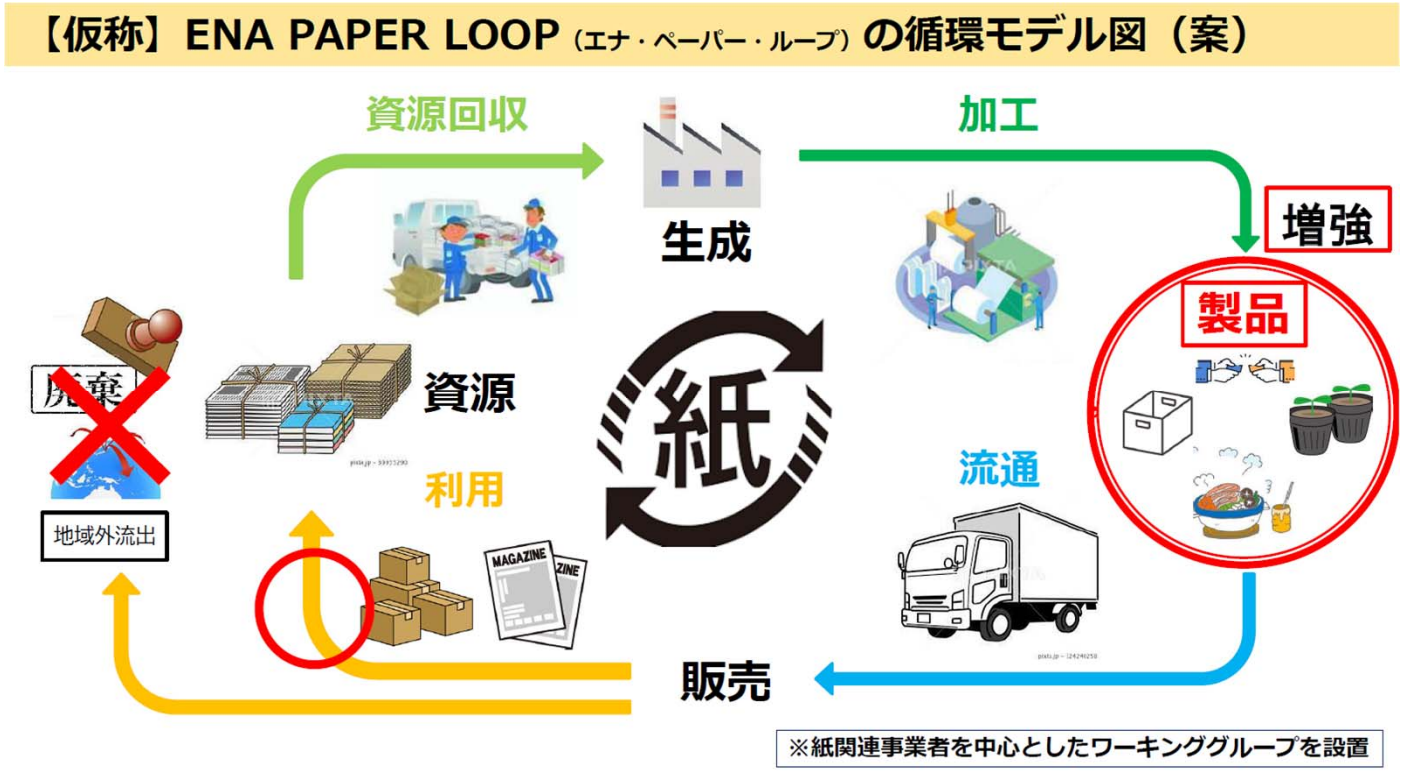
○経緯

令和４年度に、恵那商工会議所紙業部会より、市内で回収した古紙を活用したリサイクル商品の開発に関する支援要望があり、当市としても検討を進めてきた。しかし、市場ニーズの把握や事業化の可否を判断するための十分な情報収集が難しく、具体的な方策の構築には至らなかった。

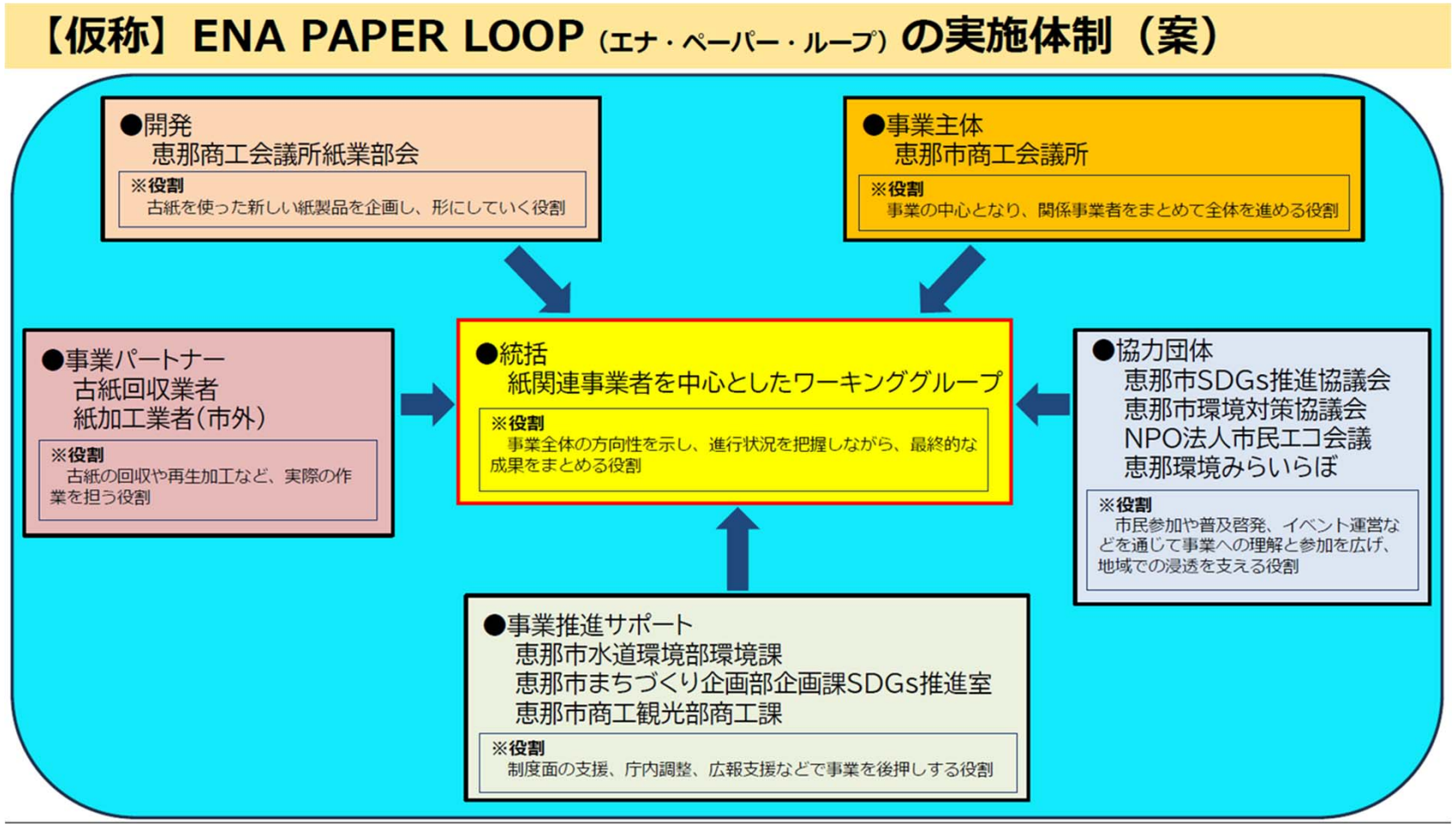
そこで本年度は、環境省の伴走支援を活用し、地域における資源循環の方向性を明確化するためのビジョン策定に取り組んだ。

報告事項　環境施策の取り組みについて

○循環モデル図

事業タイトル	【仮称】ENA PAPER LOOP（エナ・ペーパー・ループ）
事業概要	恵那市内で回収した古紙を紙製品として再生・活用することで、市内資源循環モデルの構築する。さらに、この取り組みを一層加速させるため、地域の特色を生かした新商品の開発に取り組む。
循環モデル図	

報告事項　環境施策の取り組みについて

○実施体制

体制図